

## お知らせ

東京小児がん研究グループ(TCCSG)小児白血病疫学研究のための生殖細胞系 DNA 検体収集の多施設共同研究に同意をいただいた患者様およびその研究代表者の方々へ

2014年12月01日

遺伝要因は、がんを含む多くの多因子疾患の病因や予後に対して重要な役割を担っています。日本では小児白血病に関する遺伝疫学研究は、まだ数少ないですが、その一因として生殖細胞系 DNA 検体として用いることができる生体試料の収集が困難であることが挙げられます。DNA バイオバンクを整備することで、小児白血病の発症および予後に様々な研究が可能になります。これまで参加への同意をいただいた「東京小児がん研究グループ(TCCSG)小児白血病疫学研究のための生殖細胞系 DNA 検体収集」に関する計画は、倫理審査委員会での審査(倫理審査委員会承認番号 第 142 番)を受けて許可された研究です。本研究に関し、研究実施計画書に変更があったため公示させていただきます。

下記に変更点を記載します。

- (1) 東京医科歯科大学で遺伝子解析を実施すること。
- (2) 本プロジェクトに関わる主要人員の提携関係の変更があったこと。
- (3) 倫理審査委員会での許可をうけた研究計画であることを同意書に記載したこと。
- (4) 本研究は、東京医科歯科大学の倫理審査委員会での再審査を受けて、現在、遺伝子解析にかかわる倫理委員会承認番号 第 190 番として再度、許可を受けていること。

お問い合わせ

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・疾患多様性遺伝学分野

浦山 ケビン

〒113-8519 文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-4660 (ダイヤル) (平日 9:00~17:00)

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・発生発達病態学分野

高木 正稔

電話：03-5803-5249 (ダイヤル) (平日 9:00~17:00)